

社会資本総合整備計画 事後評価書

令和04年01月13日

計画の名称	質の高い暮らし 溢れる賑わい しずおか中部の生活・交流拠点形成計画												
計画の期間	平成30年度 ~ 平成31年度 (2年間)								重点配分対象の該当	○			
交付対象	藤枝市												
計画の目標	<p>・藤枝駅周辺地区は、モータリゼーションの進展による商業機能の郊外化により、歩行者通行量の減少や、空き店舗の増加、地価も下落し続けるなどしたことから、平成20年度から内閣総理大臣認定中心市街地活性化基本計画に基づく事業に着手した。そうした結果、低未利用な大規模市有地の有効活用と、民間活力を積極的に導入した官民連携による事業などにより、居住人口の増加や不動産価値の向上などの成果や効果が発現されている。</p> <p>・しかしながら、人口減少・高齢化社会の進展へ対応する持続可能な都市構造コンパクトシティ+ネットワークへの再編のため、本地区の更なる拠点性の向上が求められていることから、都市機能集積による生活利便性の向上 個性的で魅力ある店舗の出店促進によるエリアの求心力向上 街なかの活動・交流機会の創出による昼間の賑わいの向上などを目標に掲げ、「質の高い暮らし 溢れる賑わい しずおか中部の生活・交流拠点」の実現を目指す。</p>												
全体事業費(百万円)	合計(A+B+C+D)	53	A	53	B	0	C	0	D	0	効果促進事業費の割合C/(A+B+C+D)	0	%

番号	計画の成果目標(定量的指標)			
	定量的指標の定義及び算定式	定量的指標の現況値及び目標値		
		当初現況値	中間目標値	最終目標値
		H28		H32
1	・転入増加数(社会流入)を93人/年【H25~H28(平均値)】から100人/年【H30~H32(平均値)】に増加させる。 ・計画区域外からの転入増加	93人/年	人/年	100人/年
2	・空き店舗数を49件(H28)から40件(H32)に減少させる。 ・計画区域5商店街内にある空き店舗数	49件	件	40件
3	・昼間の歩行者通行量を、7,356人/日(H29)を7,799人/日(H32)に増加させる。 ・計画区域内8地点における昼間の歩行者通行量	7356人/日	人/日	7799人/日

備考等	個別施設計画を含む	-	国土強靱化を含む	-	定住自立圏を含む	-	連携中枢都市圏を含む	-	流域水循環計画を含む	-	地域再生計画を含む	-
-----	-----------	---	----------	---	----------	---	------------	---	------------	---	-----------	---

A 基幹事業																				
基幹事業(大)	番号	事業種別	地域種別	交付対象	直接間接	事業者	種別1	種別2	要素となる事業名 (事業箇所)	事業内容 (延長・面積等)	市区町村名/ 港湾・地区名	事業実施期間(年度)					全体事業費 (百万円)	費用 便益比	個別施設計画 策定状況	
												H30	H31	R02	R03	R04				
		一体的に実施することにより期待される効果																		
		備考																		
都市再生整備計画事業	A10-001	都市再生	一般	藤枝市	直接	藤枝市	-	-	都市再生整備計画事業(藤枝市中心市街地地区)	A = 155ha	藤枝市						53	-		
												小計						53		
												合計							53	

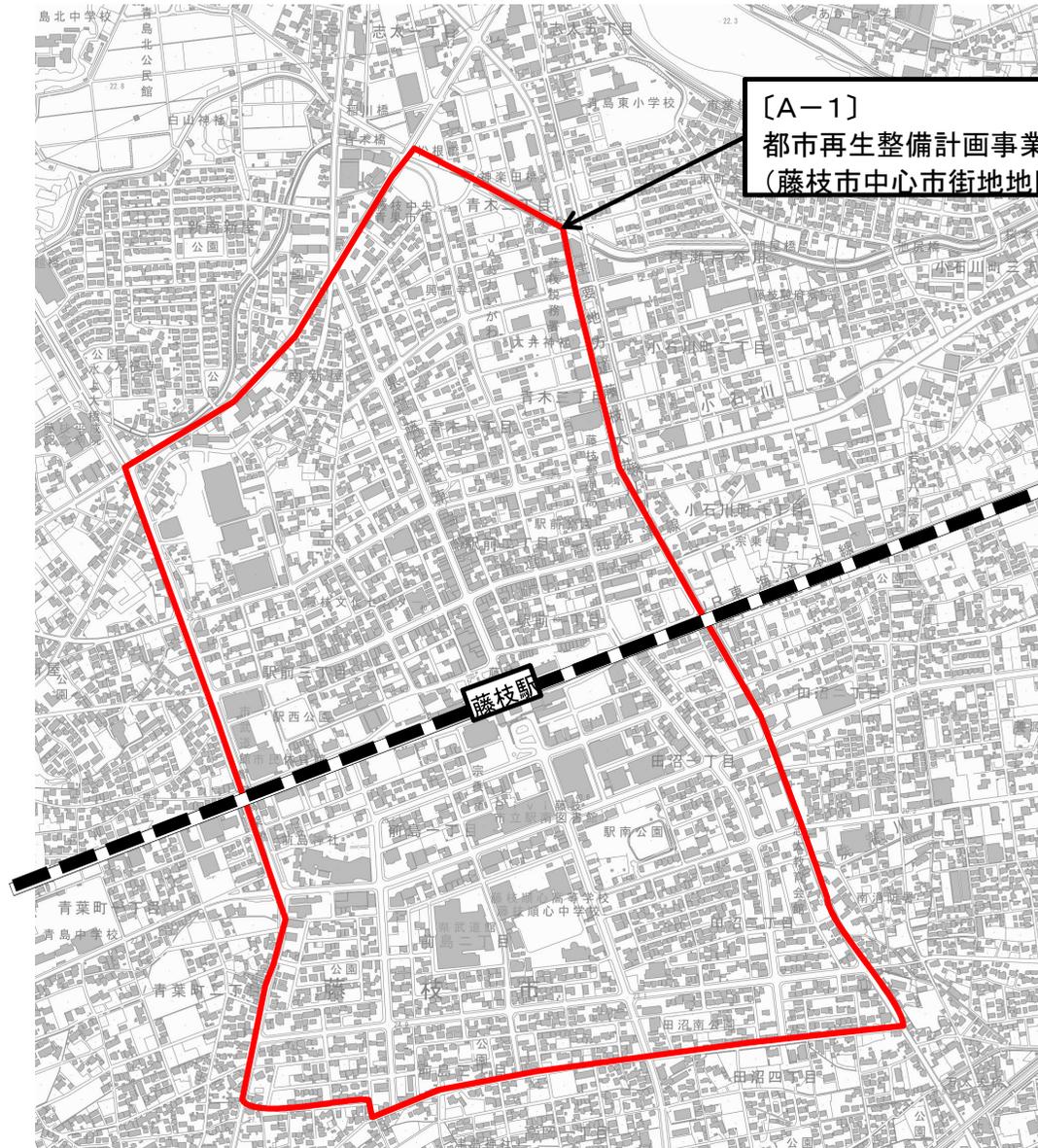
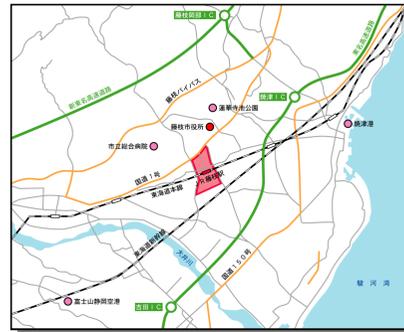
事後評価

事後評価の実施体制、実施時期	
事後評価の実施体制 藤枝市都市建設部にて評価を実施。	事後評価の実施時期 令和3年度
	公表の方法 藤枝市ホームページにて公開
事業効果の発現状況	
定量的指標に関連する 交付対象事業の効果の発現状況	<ul style="list-style-type: none"> <li>・街なかシェアサイクル構築事業により、生活利便性が向上し、「住む場所」としてのブランド力が向上したことにより転入者数が増加した。</li> <li>・駅前広場景観形成事業や駅周辺広場・道路空間賑わい創出事業を実施したが新型コロナウイルス感染拡大により、商業環境が急激に悪化し、廃業・空き店舗化する件数も増加した。</li> <li>・駅前広場景観形成事業や駅周辺広場・道路空間賑わい創出事業を実施したが新型コロナウイルス感染拡大により、市民の外出自粛を余儀なくされたため、歩行者通行量が減少した。</li> </ul>
定量的指標以外の交付対象事業の 効果の発現状況（必要に応じて記述）	
特記事項（今後の方針等）	
<ul style="list-style-type: none"> <li>・新型コロナウイルス感染対策を講じたイベント等実施し、商業活性化に伴う空き店舗数の減少及び歩行者通行量の増加を目指していく。</li> <li>・本計画は、都市構造再編集集中支援事業にて引き続き事業実施し、令和4年度事業完了後に事後評価を行うものとする。</li> </ul>	

目標値の達成状況			
番号	指標（略称）		
	目標値 / 実績値	目標値と実績値に差が出た要因	
1	最終目標値	100人 / 年	民間マンションの完成に加え、街なかシェアサイクル構築事業による「住む場所」としてのブランド力向上により転入者が増加。
	最終実績値	133人 / 年	
2	最終目標値	40件	新型コロナウイルス感染拡大に起因する客足の鈍化により、商業環境が急激に悪化したことから、空き店舗数が増加。
	最終実績値	50件	
3	最終目標値	7799人 / 日	新型コロナウイルス感染拡大の影響により、全体的に歩行者通行量が減少。
	最終実績値	6374人 / 日	

# 参考図面

計画の名称	質の高い暮らし 溢れる賑わい しずおか中部の生活・交流拠点形成計画	交付対象	藤枝市
計画の期間	平成30年度 ～ 平成31年度 (2年間)		



[A-1]  
都市再生整備計画事業  
(藤枝市中心市街地地区)